

都内中小企業の事業資金に関する調査

《概要》

主な取引金融機関については、「都市銀行」が63.4%と最も高く、次いで「信用金庫・信用組合」が29.8%である。規模別でみると大規模は「都市銀行」が多く、「信用金庫・信用組合」は規模が小さくなるにつれて増加する。

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢を借入・返済D I（「緩やか」 - 「厳しい」）でみると、+28.1と前回調査（平成18年11月）とほぼ同水準となった。全ての業種でプラス水準を維持しており、金融機関の借入や返済に対する姿勢は緩和状態が続いている。

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、「上昇」が61.7%と前回調査から6.9ポイント増加した。特に卸売業は「上昇」が73.4%と前回調査から14.1ポイント増加している。

最近の借入金利の水準は、「2%台」が48.8%と最も多く、次いで「3%台」が22.6%、「1%台」は14.4%となっている。

2月に実施された日銀の追加利上げの影響については、「既に金利上昇」が44.8%を占めた。「既に金利上昇」は量的緩和政策解除後に実施した前々回の調査（11.0%）に比べ、33.8ポイントの大幅増加となり、金利上昇懸念が現実のものとなっている。

<付帯調査回収企業数>

| 規模 | 業種 | 製造業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 全体 |
|------|----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 小規模 | | 120 | 137 | 77 | 113 | 447 |
| 中小規模 | | 81 | 57 | 93 | 62 | 293 |
| 中規模 | | 115 | 65 | 82 | 63 | 325 |
| 大規模 | | 97 | 52 | 30 | 64 | 243 |
| 規模不明 | | 29 | 10 | 24 | 15 | 78 |
| 全体 | | 442 | 321 | 306 | 317 | 1,386 |

1 主な取引金融機関について

主な取引金融機関については、「都市銀行」が63.4%と最も高い割合を占め、「信用金庫・信用組合」が29.8%と続いている。

業種別にみると、卸売業は「都市銀行」が72.4%と他の業種に比べて多い。対照的に、小売業は「信用金庫・信用組合」が43.9%と他業種に比べて多くなっている。

規模別にみると、規模が大きくなるに従い「都市銀行」の割合が増加し、大規模では83.9%に達している。これに対し、「信用金庫・信用組合」は規模が小さくなるにつれて増加し、小規模では43.4%を占めている。

主な取引金融機関からのビジネスローンの利用状況は、全体では約3割が「あり」と回答している。業種別でみると、サービス業、製造業の利用割合がやや高く、小売業は低い。規模別では大規模の利用割合が低くなっている。

図表1 主な取引金融機関及びビジネスローンの利用

| | | 主要取引金融機関 | | | | 単数回答(%) | | n 取 引 機 関 | n ビ ジ ネ ス ン |
|-------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|-------------|---------|--------|-----------------------|----------------------------|
| | | 都 市 銀 行 | 信 用 組 合 庫 | 地 方 銀 行 | そ の 他 | あ り | な し | | |
| 全 | 体 | 63.4 | 29.8 | 4.9 | 2.0 | 30.2 | 69.8 | 1,166 | 683 |
| 業 種 別 | 製 造 業 | 63.2 | 27.8 | 6.6 | 2.5 | 32.7 | 67.3 | 364 | 220 |
| | 卸 売 業 | 72.4 | 20.4 | 5.8 | 1.5 | 28.5 | 71.5 | 275 | 165 |
| | 小 売 業 | 50.6 | 43.9 | 3.2 | 2.4 | 23.4 | 76.6 | 253 | 141 |
| | サ ー ビ ス 業 | 66.4 | 28.8 | 3.3 | 1.5 | 34.4 | 65.6 | 274 | 157 |
| 規 模 別 | 小 規 模 | 51.2 | 43.4 | 4.2 | 1.3 | 28.7 | 71.3 | 385 | 244 |
| | 中 小 規 模 | 58.0 | 36.4 | 4.4 | 1.2 | 33.6 | 66.4 | 250 | 149 |
| | 中 規 模 | 70.9 | 20.9 | 5.2 | 3.0 | 30.8 | 69.2 | 268 | 156 |
| | 大 規 模 | 83.9 | 6.3 | 6.3 | 3.4 | 23.5 | 76.5 | 205 | 115 |

*無回答を除く

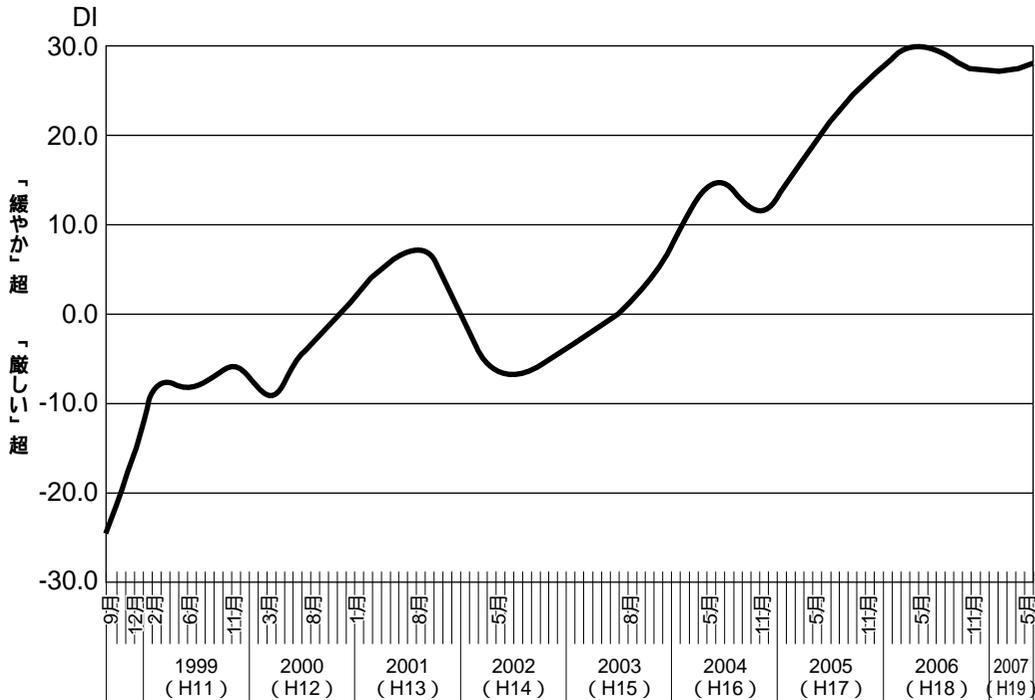
2 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢を借入・返済DI（「緩やか」 - 「厳しい」）でみると、前回調査（+27.6）とほぼ同水準の+28.1と「緩やか」が「厳しい」を上回る緩和状態が続いている（図表2）。

業種別にみると、全ての業種でプラス水準を維持しているが、製造業は高い水準ながら2.5ポイント減少、逆に小売業は7.1ポイント増加した。他の業種はほぼ横ばいであった。（図表3）。

規模別にみると、大規模が最も高く+45.3、次いで中規模が+40.1と高い水準となっている。一方、中小規模、小規模はそれぞれ+17.4、+17.2となっており、規模による差がみられる。前回調査との比較では小規模、中規模が増加し、中小規模と大規模は減少した。

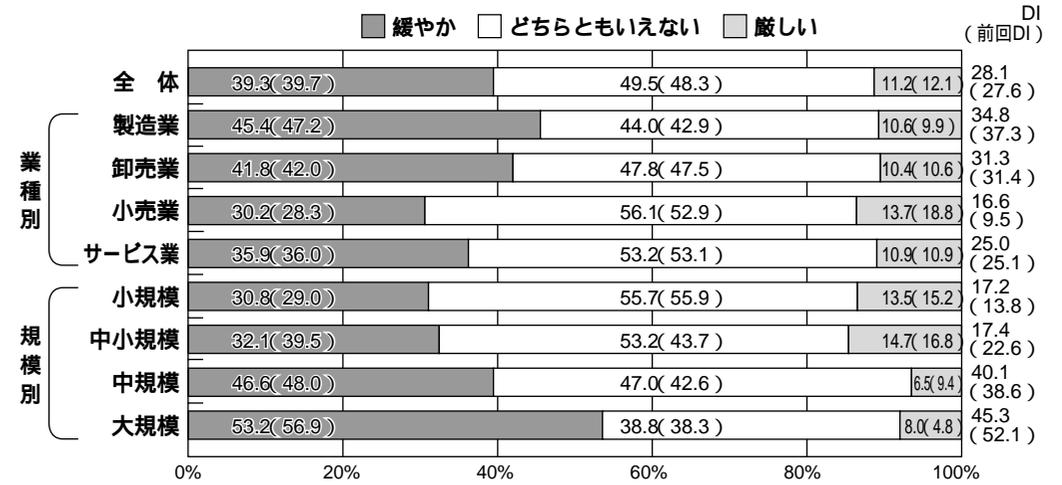
図表2 金融機関の借入・返済姿勢DI（「緩やか」 - 「厳しい」）



*H13年8月以前は「どちらともいえない、わからない」を「どちらともいえない」として計算

*無回答を除く

図表3 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢 単数回答(%)



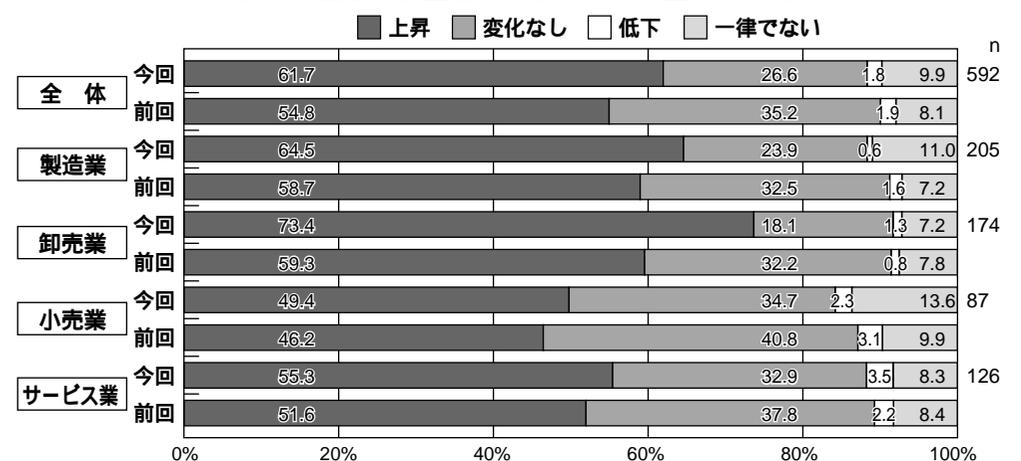
* ()内は平成18年11月調査結果。*無回答除く

3 主な取引金融機関からの借入金利について

(1) 金利の傾向

主な取引金融機関からの借入金利は、「上昇」が61.7%と前回調査（18年11月）に比べ6.9ポイント増え、借入金利の上昇が続いている。前回調査では「上昇」が前々回調査（18年5月）に比べ25.0ポイントの大幅な増加であったが、今回はさらに増加

図表4 主な取引金融機関からの借入金利の傾向 単数回答(%)



* ()内は平成18年11月調査結果。*無回答除く

している。

業種別にみると、いずれの業種も「上昇」の割合が、前回よりも増加している。特に、卸売業は「上昇」が73.4%と14.1ポイント増加した。また、製造業も「上昇」が64.5%と5.8ポイント増加した。

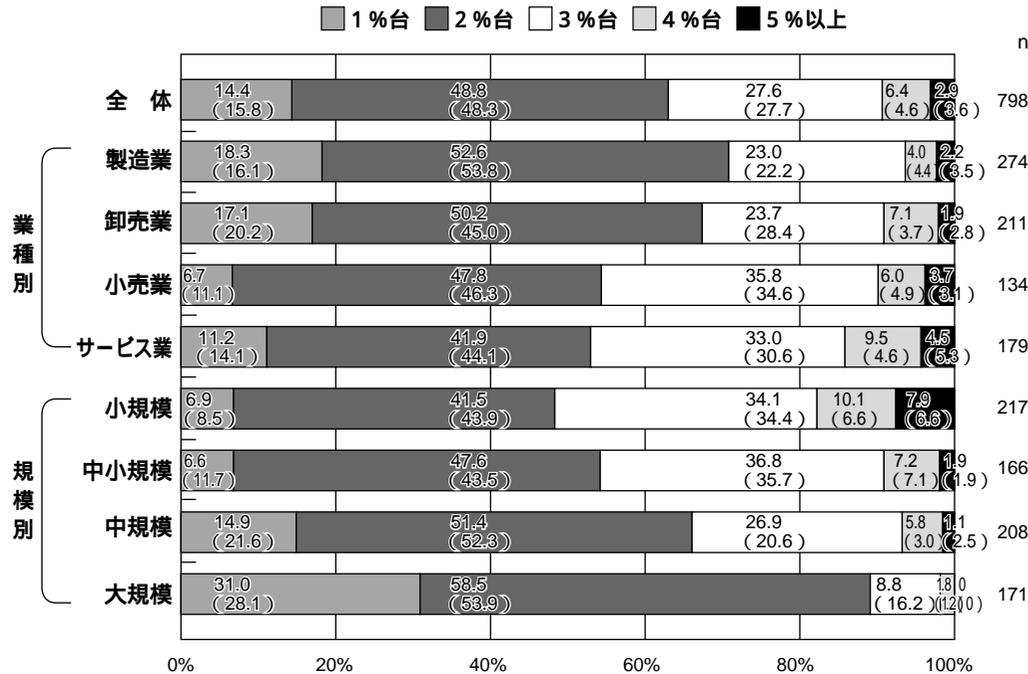
(2) 最近の借入金利の水準(3年超5年以内、保証協会の保証付以外)

最近の借入金利の水準は、「2%台」が48.8%と最も多く、次いで「3%台」27.6%、「1%台」14.4%の順となっている。前回と比べ、各金利の割合はほとんど変わっていないが、「1%台」がやや減少している。

業種別にみると、全業種とも「2%台」の割合が多いものの、小売業、サービス業は「3%台」の割合が多くなっている。規模別にみると、規模が大きくなるにつれて2%台以下の割合が増加する傾向にあり、大規模では「1%台」が31.0%を占める。

図表5 最近の借入金利(3年超5年以下のもの)

単数回答(%)



* ()内は平成18年11月調査結果。*無回答除く

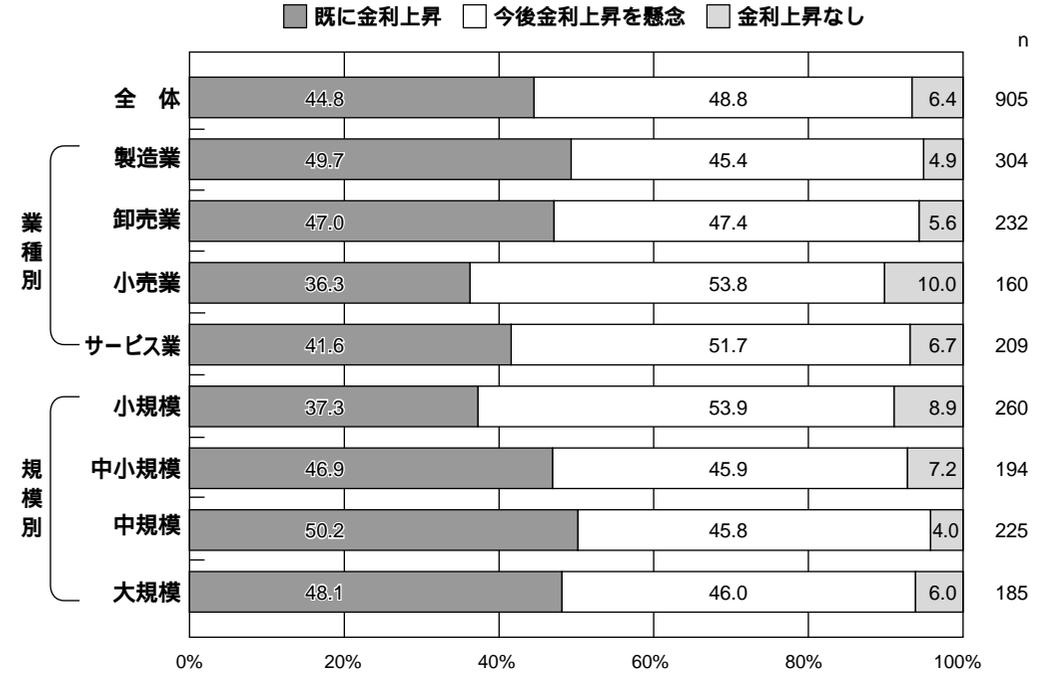
4 日銀の追加利上げの影響について

日本銀行は、平成19年2月に0.25%の追加利上げの決定を行い、即日実施した。追加利上げの影響について、全体では「既に金利上昇」が44.8%、「今後金利上昇を懸念」が48.8%を占めた。量的緩和政策の解除(平成18年3月)後に実施した前々回調査(平成18年5月)では、「既に金利上昇」が11.0%、「今後金利上昇を懸念」は79.2%であった。今回の調査では「既に金利上昇」は前々回調査に比べ33.8ポイントの大幅増加となり、金利上昇に対する懸念が現実のものとなっている。

業種別にみると、製造業、卸売業は「既に金利上昇」が5割近くと「今後金利上昇を懸念」を上回っている。規模別でみると、中規模、大規模とも「既に金利上昇」が5割近くを占め、他の規模より高くなっている。

図表6 日銀の追加利上げの影響

単数回答(%)



* ()内は平成18年11月調査結果。*無回答除く